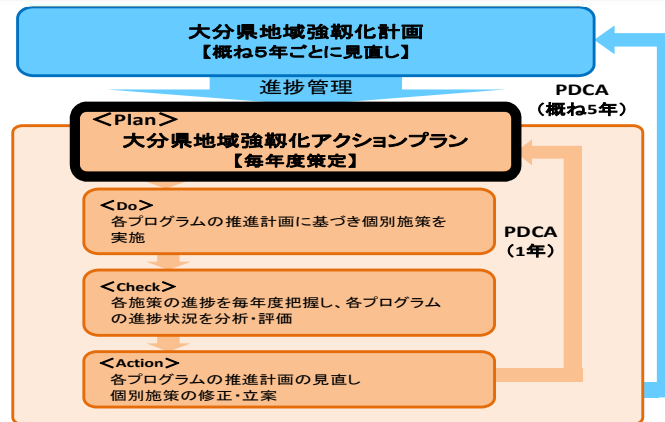


大分県地域強靱化アクションプラン2016の策定について

◎PDCAサイクルによる進捗管理



◎大分県地域強靱化アクションプラン2015からの主な変更

《第1章》大分県地域強靱化アクションプランの位置付けと構成

○「熊本地震を踏まえて」を追記

- ・南海トラフ巨大地震等の大規模災害の発生に備え、生活環境部に「防災局」を新設。
- ・熊本地震の教訓を踏まえ様々な取組について検討し、新たな施策はアクションプランの中で位置づけ推進する。

《第2章》各プログラムの推進計画等

○施策の進捗状況の可視化(代表的な指標)

- ・「基礎値→現状値→目標値」の明記

○進捗状況を踏まえた代表的な指標の見直し

「例」山地災害危険地区の整備地区数(目標の達成に伴い新たな目標値を設定)

(2015)基礎値:2,060地区(H26) → 目標値:2,080地区(H27)

(2016)基礎値:2,060地区(H26) → 現状値:2,099地区(H27) → 目標値:2,239地区(H32)

○進捗状況を踏まえた推進方針の見直し

「例」港湾BCP(重要港湾)の策定完了に伴い、新たな方針として『港湾BCPを適宜見直し、被災時の最低限の港湾機能(ハード・ソフト)の維持を図る』に変更

○有識者会議の意見を反映し推進方針を見直し

「例」「老朽化して危険な空き家対策について、市町村との連携により推進」を追記

《第3章》プログラム推進のための主要施策

○第2章の推進計画に合わせて変更

「例」鉄道駅及び鉄道施設の耐震化補強
「緊急輸送道路と交差する鉄道施設の耐震化を推進する」について
事業の完了に伴い削除。

◎大分県地域強靱化アクションプラン2016推進スケジュール

- 7/27 大分県地域強靱化計画推進委員会幹事会
- 8/ 1 大分県国土強靱化地域計画有識者会議
- 9/ 2 大分県地域強靱化計画推進委員会
- 9/20 議会報告・HP公表